

令和元年度 第20回「まちづくり会議」概要 御手洗地区

日 時：令和元年10月3日（木） 19：30～21：00

場 所：御手洗公民館

参加団体等：振興協議会、御手洗喜米会、壮年会、運営審議委員、交通安全協会御手洗支部、社会福祉協議会、体育協会、防犯協会御手洗支部、町内会、公民館長、白山市町会連合会理事 など

発言【1】

- ①市民協働で創るまちづくりや地域との情報共有におけるICTの活用について
- ②著名人による講演会の企画について
- ③オリンピックに関連した取り組みについて

【市】

①市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めています。その中で、ICT（情報通信技術）につきましては、効率的に情報を共有するコミュニケーション手段として、メールやSNSを通しての意思疎通も有効であると考えています。

しっかりと情報が伝わる方法が何であるかを考えながら、先進事例も参考にして対応してまいります。

また、市ではRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）※の運用についても検証中であり、有効であれば導入する予定としており、この取り組みの成果によっては将来的に地域コミュニティ組織の事務局業務に同システムの活用を検討したいと考えています。

※RPAとは職員がデータを手入力していた部分などを自動化し、ソフトウェアで運用することにより、大幅に作業時間の短縮等が見込める方法です。

②一流の人の話を間近に聞けるといいうのは良いことだと思いますので、機会を見つけながら企画してまいります。

参考：クスリのアオキ文化創生プロジェクト：トークショー・講演会

H28年 水野真紀さん

H29・30年 五木寛之さん

R元年 草野 仁さん

生涯学習のつどい・公民館大会：記念講演

H29年 武田双雲さん

H30年 依田 司さん

R元年 フィフィさん

③昨年の11月28日から世界トランポリン競技選手権大会が東京都で開催され、ポルトガルチーム(団長以下12名)の事前合宿が11月17日から24日までの8日間松任総合運動公園体育館で実施されました。

また、金沢市と連携を取りながら、フランスの水泳チームの事前合宿にも松任総合運動公園プールを利用いただいています。

オリンピックの機運醸成を図るため、引き続き関連事業の実施に努めてまいります。

発言【2】

防犯カメラの町内入り口付近への設置について

【市】

毎年、市内全学校のPTA・育友会などから横断歩道・信号機・防犯カメラの設置など要望のあった場所を、学校・警察・道路管理者の合同で通学路点検を実施しています。

平成28年度からは、通学路や地下道などに犯罪抑止のために防犯カメラを設置しており、設置場所は、付近に民家などがいないなど人目に付きにくい場所、危険と考えられる場所などで、警察と相談しながら緊急度の高い場所から設置しています。

御手洗地区につきましては、今年度、相川新町地内の高速道路のアンダーと徳光の交差点の2か所に設置いたしました。

今後も、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

発言【3】

車遊館について

【市】

旧車遊館に関しましては、売却先の民間企業が活用方法を検討しています。高速道路の利用者だけでなく、地域の人にも利用していただけるよう施設を整備していくとの事であり、市でも可能な範囲で支援してまいりたいと考えています。

地域の賑わいの拠点の一つとなるよう期待しています。

発言【4】

①スマート農業の取組推進による担い手の育成について

②GAPの認証取得の取り組みについて

【市】

①農業者の高齢化による離農が進む中、今後はさらに地域の担い手への農地集積が進むことが想定されています。経営規模の拡大による農業機械の導入支援や農作業の省力化、安定した生産確保を目的とするスマート農業の普及にも取り組んでいくこととしており、農業者が農業を継続できる環境づくりに努めてまいります。

②農業生産物の販路拡大等を視野に、安全安心な農産物の提供につながるGAP認証取得の補助制度（1/2補助 限度額 300千円）を今年度創設し、普及推進を図ってまいります。

発言【5】

市民協働で創るまちづくりについて

【市】

人口減少や少子高齢化の進展、市民ニーズの高度化・多様化、災害に備えた自主防災活動など、社会情勢の変化に対応するために、地域における新たな仕組みを構築していく必要があると考えています。

「市民協働で創るまちづくり」の実現に向けては、「自分たちの地域は自分たちで守る」ということを地域づくりの基本とし、住民と行政が協働し、連携、協力し合う関係を築いていくことが必要です。

今後の進め方：令和2年度からのモデル地区の試行的事業を参考に、地区内で説明会や勉強会等を開催しますので「市民協働で創るまちづくり」の理解を深めていただくとともにその機運を盛り上げていきたいと考えています。また、並行して、地区の区長会・公民館長・主要な各種団体などで構成される検討メンバーにより、設立準備会を立ち上げて新しい地域コミュニティ組織の設立に向けた準備を行っていただきたいと考えています。

○「地区点検」の推進

- 1 地区説明会 まちかど市民講座などで説明
- 2 地区勉強会 地区内の現状把握・課題の洗い出し
- 3 地区内の周知・広報

ステップ1 検討会

- 1-1 モデル地区の開始時期の検討
- 1-2 設立準備会の立ち上げ準備

ステップ2 設立準備会

2-1 設立準備会の立ち上げ

2-2 新しい地域コミュニティ組織の姿の検討

2-3 試行的に運営・活動

ステップ3 組織設立、運営・活動開始

3-1 設立総会の開催

3-2 組織運営・活動の開始

主体は地域の皆さんです。各地区の意見を拝聴しながら、わかりやすく、取り組みやすい地域活動が継続できるよう、丁寧な説明を心掛けてまいります。

発言【6】

プログラミング教室への支援や科学・技術分野へのチャレンジについて

【市】

生涯学習活動として、公民館など地域で開催されるプログラミング教室などの科学・技術分野への取り組みは、子どもたちの未来のために大切であると考えています。

しかしながら、指導者の確保や講習用パソコンの購入等、公民館のみでの開催は難しく、地域や大学、企業などの協力を得ることにより円滑に実施することが出来るものと思います。

このような課題解決のために、老人会や女性の会など各種団体が連携し、地域の特性を生かしながら取り組んでいくことが「市民協働で創るまちづくり」につながり、より魅力のある誇れる地域となっていくものと考えます。